



身に着けるとひんやりとした涼しさを感じる「竹糸くんシリーズ」の  
アームカバー＝松阪市大口町の三重化学工業で



# 優れた吸水、速乾性

汗で蒸れ、紫外線が強く、とにかく不快。そんな夏場の仕事やスポーツを快適にする商品にまつわるクイズを一つ。手や腕に身に着けるとひんやりして、脱ぐと暑くなるものって、なーんだ。

答えは、三重化学工業(松阪市大口町)の「竹糸くんシリーズ」。同社は県内で唯一、作業用手袋の製造開発を手掛けている。シリーズは名前通りの、天然の竹糸から作られた商品で、アームカバーや手袋なども作っている。山川大輔専務(56)は「竹糸は吸水性と速乾性に優れ、汗の蒸発に必要な『気化熱』を体から奪い、身に着けると体温を一度ほど下げる」と説明する。特殊製法で編ま

## ⑤ 触る

### 松阪・竹糸アームカバー

れた商品は現在、特許出願中だ。

開発のきっかけは、製造業などの現場で従業員が夏場の悩みを聞いたことだった。工場では、安から長袖の作業着の着用を義務付けており不快感を訴える従業員が多かった。山川専務は「腕を覆っても、涼しく作業できる商品を開発し他社製品との差別化を図りたかった」と話す。

八年前、業界に先駆け「夏の作業快適グッズ」として開発し大ヒット。全国のホームセンターで扱われる同社の看板商品の一つに成長し、現在も売り上げを伸ばし続けていく。当初はアームカバーのみを製造、販売していたが、手袋や帽子の下も開発。計十二種類まで商品を増やした。価格は五百円前後が主力だ。

「使うとやめられないリピーターが多い。ぜひ一度この涼しさをお試しあれ」と山川専務。今後も、さまざまな柄や色の商品展開を構想しているという。(吉野淳一) おわり